

μ PD7210C/D

GPB インタフェース・コントローラ

μ PD7210 GPB-IFC (General Purpose Interface Bus-Interface Controller) は、マイクロプロセッサの制御の下で、IEEE Std 488-1978に規定されたインタフェース・バスとマイクロコンピュータ・システムとのインタフェースを行います。

特 徴

○IEEE Std 488-1978で規定された

全インタフェース機能を持つ。

・SH1, AH1, T5/TE5, L3/LE3, SR1, RL1
PP1/PP2, DC1, DT1, C1, C2, C3, C4, C5

○プログラマブル・データ転送レート

○16個のレジスタ

・リード・レジスタ(8個), ライト・レジスタ(8個)

・メッセージ送受信, インタフェース・ファンクシ
ョン制御, ステータス情報等

○2個のアドレス・レジスタ

・MTA, MLA, MSAの検出

・2つのデバイス・アドレス

○13種類の個別にマスク可能な割込ソース

○EOSメッセージの自動検出

○コマンド (IEEE Std 488-1978規定) の自動処理
未定義コマンド読出し可能

○DMA動作可能

○プログラマブルなバス・トランシーバ入出力指定

○1~8MHzクロック

○TTLコンパチブル

○NチャネルMOS

○+5V単一電源

○40ピン・プラスチックDIP

μ PD7210C (P40C-100-600A)

○40ピン・セラミックDIP

μ PD7210D (P40D-100-600A, P40DH-100-600A)

端子接続図 (Top View)

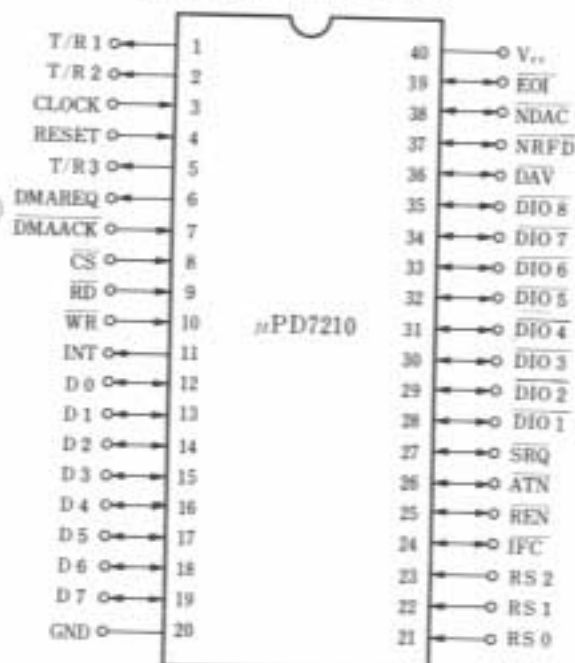


図-1 ブロック図

